

## 令和6年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

# 第2回対人支援スキルアップ部会を開催しました

○9月9日（月）に第2回対人支援スキルアップ部会を開催しました。参加者は、部会メンバー8人、事務局3人、上越地域在宅医療推進センター1人の12人でした。

○パッケージを活用した研修の実施についての意見交換と事例検討を行いました。



### 【研修の実施について意見交換】

○5つの地域包括支援センターが合同で実施する介護支援専門員の研修会について

- ・包括で介護支援専門員を対象にパッケージを活用した研修会を11月に予定。
- ・部会委員が研修会に参加し、ファシリテーターの役割を担ってはどうか。

○少人数単位での研修会の開催について

- ・部会委員が中心となって少人数で繰り返し研修を行うことで、より活用しやすいシナリオ等、意見をまとめてはどうか。
- ・多職種を集めて研修をするには、病院や職場単位で行うか、既存の勉強会の中へ組み込んでもらうのがいいのではないか。
- ・歯科医師会で多職種の意見交換会があるが、1時間で実施しているため、90分のパッケージ活用は難しい。1時間程度に短く編集できるのであれば、パッケージ研修を行いやすくなる。
- ・専門職のスキルアップを図るという目的の研修だが、窓口対応のある事務職員にも通ずるものがあるため、市役所担当課の職員を対象に実施を検討したい。

◇今後の取組◇

- ・パッケージの動画を編集しコンパクト化（60分程度）したものを作成する。  
→部会委員が確認した上で、60分版の実用化をすすめる。
- ・確認方法としては、YouTubeで委員へ限定公開して意見をもらう予定。

### 【事例検討】

○自分の対応で利用者の依存・不安感を増長させてしまった可能性のある事例

◇感想・気づき◇

- ・不安を傾聴することで不安を増長させることにつながる可能性はあるが、傾聴により互いの信頼関係も深まるので、悪い面だけではないと思う。
- ・1つではなく複数の不安が重なり、強い不安になっているのではないか。
- ・友人はいても、内面の話まではできていなかったのではないか。

◇対応策◇

- ・電話を受ける際は、相談時間を区切る等の決まりをつけるようにする。
- ・利用者が他に意識を向けられるような、自己解決法を見つけるようにする。
- ・相談先を増やす（支援者の負担を減らすことにつながる）。
- ・不安の根底にあるものは何かを探らないと解決しないため、「謙虚な問いかけ」が大切。ただし、尋問にならないようにパーソン・センタード・ケアのVIPSフレームワークを意識する。
- ・高齢で出来ないことが増えたとしても、一人の人として認められ、尊重され、それを本人が実感できるような関わりが大切である。

※次回：令和7年1月予定